

# 祝 宿毛線開通 25 周年 ごめん・なはり線開通 20 周年

## 時代の夜明けのものがたり列車で行く 高知県横断ツアー（西⇒東）

（高知観光リカバリーキャンペーン適用事業）

土佐くろしお鉄道では宿毛線開通 25 周年、ごめん・なはり線開通 20 周年を記念とした特別企画「時代の夜明けのものがたり列車で行く高知県横断ツアー（西⇒東）」を行います。車窓に広がる雄大な太平洋を人気の観光列車で眺めに行ってみませんか。



- ▶ **日程** 10月28日（金）～29日（土）
- ▶ **旅行代金** 大人 19,000円  
（2名1室※子どもは要問合せ）
- ▶ **申込締切** 10月14日（金）

▶ **行程** 志国土佐 時代の夜明けのものがたり

<b>1日目</b>	宿毛駅	中村駅	高知駅	奈半利駅	モネの庭	芸西（泊）		
	9:05	9:24	12:00	14:35	15:00	17:00頃		
<b>2日目</b>	宿泊地	岩崎弥太郎生家	伊尾木洞	室戸ジオパーク	奈半利駅	高知駅	中村駅	宿毛駅
	8:30	9:00	9:50	12:00(昼食)	15:01	17:10	18:59	19:17

※【宿泊先】ロイヤルホテル土佐【貸切バス】高知東部交通【添乗員】同行してお世話いたします  
※詳しい行程等は下記までお問い合わせください。

■お問い合わせ先 土佐くろしお鉄道株式会社 総務部 総務企画課 ☎0880-35-4962（平日 8:30-17:30）

# 今月の 人オキッパ

## 「千里の道も一歩から」…その通りに歩む！



▲国際ホテル高知で、サービス業の基礎を学びました。

中野さんは、現在「道の駅とおわ」を切り盛りする「株式会社とおわ」の社長さん。と言っても、ちょっと前までは、いわゆる普通の主婦でした。

時代は生徒会活動の裏方として頑張りました。高校は伊野商業へ。伊野商業では、文化祭の時に、生徒たち自らが物品を仕入れて販売するという「伊野商デパート」という取り組みが行われていて、中野さんもその取り組みに参加。「すごく楽しかったことを覚えています。体育祭も文化祭も、みんなで0から考えて作り上げていくことが好きで、やりがいを感じていました」

働き始めました。就職が決まった時に、尊敬していたおじいちゃんからかけてもらった言葉があるそうです。「新入社員だから、誰よりも早く出勤しなさい。そして、自分のことより、人のために仕事をする人になりなさい」

結婚を機に旧十和村へ。右も左も分らない十和での生活でしたが、縁あって、野菜などの直販所「十和の台所」で働くことに。さらに、道の駅とおわのオープンにあたってのスタートメンバーになりました。そこからは、様々な紆余曲折がありながらも、あれよあれよと株式会社とおわの立ち上げとなり、現在の奮闘に至っています。

高校を卒業したら、テレビ局のADなどの裏方の仕事があったという希望がありました。しかし、県内就職することになりました。時代は就職氷河期。何かしらの資格を取得しておくべきということで、3年生の夏休みに、歯科助手になるための講習に参加。卒業と同時に歯科医院で

その後、国際ホテル高知で働くことになり、ベッドメイキング、レストラン、フロントと、ホテル業務の全てを経験したことが、後に、サービス業をやっていく上での礎になっているという事です。

「千里の道も一歩から」の言葉から「千里」と名づけたお父様からこう言われたそうです。「その通りにいきゆうね！」



なかの ちさと  
中野 千里さん

## 連載 No. 11

### もっと 知ろう！文化的施設のこと 施設の「実施設計」進捗状況について

令和6年度  
開館予定

#### 施設の外壁や内装材、家具や館内サイン等の検討を進めています

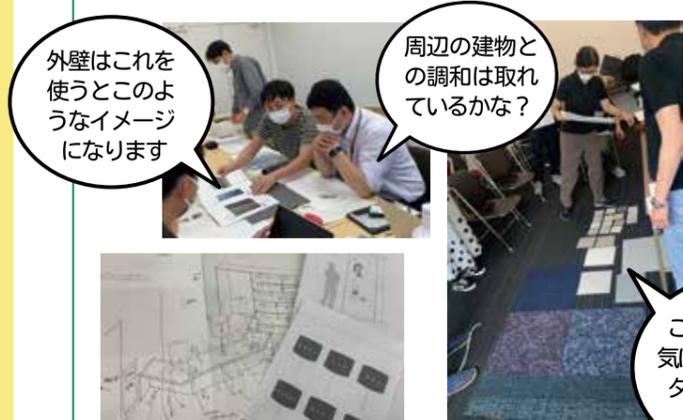
昨年11月に着手した実施設計作業も本年10月の完成(予定)へ向けて大詰めです。配置・平面計画決定以降は、壁や床等の素材、家具や館内サイン等について、設計の委託先から提案を受けながら検討を進めています。



◀設計打ち合わせの様子。オンラインでの打ち合わせも重ねながら進めています。



外壁や内装材を決定していくにつれて、施設の細かな部分まで具体化してきました。また、広報「四万十町通信」3月号の連載No.5でお伝えした、アプローチ棟に使用予定の四万十ヒノキでできた「組子耐力壁」の検査も無事合格しました。



外壁はこれを使うとこのようなイメージになります

周辺の建物との調和は取れているかな？

ここは足音などが気にならないようにタイルカーペットがしゅね!



▲「組子耐力壁」の検査の様子

▲検討途中の資料

「四万十町文化的施設」ビジョン  
まちの文化が流れ、ひとにひらかれ、ひとが集まる 四万十駄場

お問い合わせ先  
企画課 文化的施設整備推進室  
☎22-3124